

第 21 回 倫理研究会のご案内

1. テーマ

「電気事業者における安全文化の取り組みの現状と課題」

～事故を防げる安全文化を目指して～

2. 趣旨

倫理委員会では、東京電力福島第一原子力発電所事故（以下、「1 F 事故」）以降、事故を倫理規程に照らし合わせたとき、どのような問題があったのか、原子力学会会員の日々の活動に何が足りなかったのか、原子力技術の担い手はどのような倫理を持つべきなのか、等の議論を行ってきました。また、それらの議論を深化させ、共有するために、倫理委員会の企画する企画セッション（春の年会／秋の大会）や研究会に関係者を招聘し、さまざまな角度から、参考となるご講演を行っていただきました。

たとえば、昨年の秋の大会の企画セッションでは、北海道電力泊発電所における安全性向上の取り組みについて、ハード面、ソフト面、さらには関係者のモチベーション向上施策等について報告いただきました。しかしながら、1 時間半の時間制限の中では、実施されている取り組みによって事故の芽を摘めているのだろうか、等の疑問について、議論を深めるには至りませんでした。

今回の研究会は、複数の電気事業者の方にご登壇いただき、現在、取り組まれている安全文化の取り組みについてご報告いただくと共に、ご登壇者に他の産業分野の方を加えたパネルディスカッションを行い、取り組みの内容だけでなく、組織のトップの安全文化へ向き合う姿勢や、経営における安全文化の位置づけ、あるいは事故の芽を摘めているのかといった本質的な疑問について、率直に議論したいと思い、企画いたしました。また、良好事例や課題等を共有したいと思っております。

皆様の組織における安全文化のさらなる醸成に向けて、是非、多くの方にご参加いただければ幸いです。

3. 日時 平成 30 年 2 月 19 日(月) 13:20～16:45

4. 開催場所 東京大学 工学部 11 号館 1 階講堂

5. プログラム

(1)13:20-13:45 開会挨拶、「研究会の開催にあたって」

倫理委員会委員長 大場恭子

(2)13:45-14:15 講演 「福島原子力事故の総括と原子力安全改革」

東京電力ホールディングス原子力設備管理部原子力技術統括 川村慎一 氏

(3)14:15-15:15 「電力事業者の安全文化への取り組み」

東北電力株式会社 女川原子力発電所 技術統括部長 阿部正信 氏

中部電力株式会社 原子力部 品質保証 G 長（部長） 石田卓久 氏

北陸電力株式会社 原子力本部 原子力部 部長 上野晋介 氏

九州電力株式会社 原子力発電本部 品質保証グループ 副長 永倉太一郎 氏

－休憩（10 分）－

(4)15:25-16:40 パネル討議

モデレータ：大場恭子

パネラー：

片方喜信 氏（東日本旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部安全企画部主幹）

各講演者

(5)16:40-16:45 閉会挨拶

倫理委員会副委員長 三村靖

6. 参加費

2,000 円（当日、お釣り不要のように千円札でのお支払いをお願いします）

7. 申込方法

申込先；東芝エネルギーシステムズ株式会社 原子力企画室

福家 賢（masaru.fukuie@toshiba.co.jp）まで、

『平成 30 年 2 月 19 日 倫理研究会参加申し込み』

と標題を付けて、下記事項を記載の上、電子メールでお申し込み下さい。

*****（平成 29 年度倫理研究会参加申し込み）*****

氏名：

原子力学会会員番号：

会員で会員番号が不明の方は「不明」、非会員の方は「非会員」とお書きください

所属：

区分： 一般 ・ 学生

連絡先：電子メール；

電話；

申し込み期限；平成 30 年 2 月 13 日(火)午前 10:00。 定員 80 名、先着順で定員になり次第締め切りますのでご了承下さい。なお、問い合わせは上記申し込み先をお願いします。

以上

[研究会担当委員：出町（東京大学）、福家]